

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立 恋野小学校	石井 美行
学校所在地		
〒 648-0022 和歌山県橋本市赤塚 1 2 9-1 tel 0736(32)1355 fax0736(32)1366		
担当者名		役職名・担当教科
庵上 太紀		教諭・6年生担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、和歌山県の北東部、奈良県との県境に位置する橋本市にあり、北側には一級河川「紀の川」が流れている。また、県道の南側にある一段高くなった河岸段丘的な平地に田畑が多く、民家も点在している。地域の約半数の家が農業に従事しているが、児童の保護者の世代は会社員や公務員が多く、ほとんどが兼業農家である。</p> <p>令和3年度の本校の在籍児童数は53名、学級数は普通学級5（2・3年生は複式学級）、特別支援学級1の6学級で、教職員数は13名である。</p> <p>『命を大切にし、自他を認め、「生きる力」を育む教育を実践する。』と『家庭・地域との連携を大切にし、信頼される学校づくりに努める。』を教育基本方針とし、「知・徳・体の調和のとれた子どもを育成する」を教育目標に教育活動を行っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 10名	4名 職員 3名	本校、高野町中央公民館、一の橋～弘法大師御廟
実践研究テーマ		
『自ら考え、かかわりながら学んでいく子どもの育成』 ～主体的・対話的で深い学びの実現を求めて～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「世界遺産を訪ねよう」	
〔キーワード〕 世界遺産学習、ESD、表現力、郷土愛		
〔単元目標〕		
<p>①実際に世界遺産の高野山を訪ね、身近なところに素晴らしい世界遺産があることを実感できる。</p> <p>②世界遺産について調べ学習や現地学習を通じて収集した情報をまとめ、発表する。</p> <p>③世界遺産学習を通じて、世界遺産を自分たちで守っていこうとする心情を育て、次世代に引き継ぐために自分たちができることは何かを考え、実践する態度を養う。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 25時間 （「世界遺産について調べ、発表しよう」 25時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター ……次世代育成事業実施に係る連絡・調整、世界遺産講座 世界遺産マスター ……一の橋から御廟までの現地学習における説明・情報提供		

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1 世界遺産について知っている事を情報交流する。 2 世界遺産について調べよう。 3 調べるテーマを決める。	・世界遺産について知っていることを自由に発表させ、情報交流及び学習への動機付けとさせる。 ・世界遺産について自分が興味があることをもとに調べるテーマを決めさせる。	(興味・関心) 観察、ワークシート
2	4 世界遺産講座を受講し、世界遺産への理解を深める。 5 高野山で現地学習を行い、世界遺産に触れる。	・世界遺産講座を受講して世界遺産について学習する。 ・高野山を訪ね、一の橋から御廟まで世界遺産マスターと一緒に現地学習を行わせる。	(興味・関心) 観察
3	6 図書室、インターネットで調べる。	・自分のテーマについて現地学習をもとに世界遺産について図書室の本、インターネット等でより詳しく調べさせる。	(興味・関心・理解) 観察、ワークシート
4	7 現地学習、調べ学習、世界遺産講座で収集した情報をまとめる。	・世界遺産についての現地学習、調べ学習、世界遺産講座で収集した情報を活用して、発表するための資料づくりに取り組ませる。	(興味・関心・理解・表現) 観察、ワークシート
5	8 世界遺産について分かったこと、考えたことを発表する。	・世界遺産について分かったこと、考えたことを含めて今までの学習の成果として発表させる。 ・友達の発表について感想を自由に述べさせ、学習内容を共有させ、深める。	(興味・関心・理解・表現) 観察

〔単元学習の成果と課題〕

成果

・「世界遺産を訪ねよう」の単元学習を通しての成果はまず、子ども達の世界遺産について興味関心の高まりが見られたことである。特に、高野山での現地学習に参加し、世界遺産講座の受講や世界遺産マスターと一緒に一の橋から弘法大師御廟までの現地学習を通じて、世界遺産への知識・理解が深まり、世界遺産をより身近なものとしてとらえ学習することができた。よって、学習の後半におけるまとめ学習への意欲付けにもなった。  
 ・世界遺産について学習する中で、ふるさと和歌山の世界遺産を大切にしたい気持ちが芽生え、自分たちの手でいかに守っていくかについて考えるきっかけとなった。

課題

・世界遺産マスターの方から、「この墓は、〇〇の墓で・・・。」という話は大人の自身も含め、歴史好きの児童にとっては目を輝かせる興味津々の話が多く、社会科の日本史の学習に向けた強い動機付けとなった。しかし、社会科の単元が例年より遅れ気味だったことにより、イメージを結びつけることが難しく、教科横断的な学習といった点ではスムーズに繋がれなかった。

〔世界遺産学習の効果〕

・世界遺産学習として高野山での現地学習に参加することは、世界遺産への理解及び興味関心を高め、ふるさとを大切に思う心や郷土愛を育むきっかけとなった点で学習効果は大きかった。また、副次的な効果として弘法大師、真言宗、奥の院に眠る歴史上有名な人々への歴史的な興味関心を子ども達が持つことができた。  
 ・世界遺産学習を通じて課題設定、情報収集及び処理、表現・発表の力を高めることができた。  
 ・世界遺産講座の受講を通じて、世界遺産について正しい知識を持つことができ、世界遺産を単なる観光の対象ではなく、グローバルな視点で守り伝えていくべき人類共通の宝物としてとらえることができた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

・6年続けて参加させていただいている次世代育成事業による高野山での現地学習は、世界遺産学習の取り組みを進める上で非常に有効な学習機会となっている。今後も機会があれば、是非、本事業を活用させていただきたい。

## 様式 2

### 令和 3 年度 次世代育成事業における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

1 : 実施日 令和 3 年 1 1 月 2 4 日 (水)

#### 2 : 学習内容の記録・児童の感想

##### (1) 学習内容

①世界遺産講座・世界遺産ビデオ視聴 場所：高野町中央公民館



世界遺産講座受講の様子

午前 9 時 3 0 分に事前に手配していただいたバスで 1 0 名の児童と担任が学校を出発し、約 1 時間半程度で高野町に到着。午前 1 1 時前から高野町中央公民館にて約 1 時間程世界遺産について学習。最初に約 4 0 分程度、世界遺産センター職員の方より世界遺産について説明していただき、最後に 2 0 分程度世界遺産についてのビデオを視聴する。

②現地学習 場所：一の橋～御廟～中の橋



昼食後、1 2 時半に高野町中央公民館を出発し、世界遺産マスターの引率で約 1 時間半程度一の橋から御廟までの現地学習をする。現地学習終了後、中の橋駐車場にてお世話になった世界遺産センター職員、世界遺産マスターの方々へのお礼の後、バスにて学校へは午後 3 時半頃帰校。

##### (2) 児童の感想

- 奥の院でお墓を見て回った時、一番大きいお墓は武将ではなく、武将のお母さんだったと知ってびっくりしました。武将は、そんなに大きくなって、これもびっくりしました。高野山 7 不思議のうち 3 つ体験したので、残りの 4 つも調べてみたいです。
- 私が、世界遺産マスターさんの話を聞いて驚いたことは、奥の院には歴史の中でも有名な人たちのお墓がたくさんあるということです。なぜかという、私は、昔都があった京都や奈良に奥の院のような場所があると思っていたからです。高野山の魅力やいろいろな知識を得られてよかったです。
- 僕は、なぜお墓の大きさと人の知名度は比例しないのか疑問に思いました。このことについてもっと知りたいとおもいました。
- 地水火風空は、頭に残っていた。織田信長や豊臣秀吉などのお墓を見ることができた。奥さんの方がお墓が大きかった。世界遺産のことや、お墓の事、猪の目のことなどを知ることができた。世界遺産が全国でこんなにあるなんてびっくりした。たくさんを知れて良かったと思った。
- 高野山自体が世界遺産ではなく、「紀伊山地の霊場と参詣道」という正式な名前があるということを知った。町石や墓の形を見て、たてられた時代を知ることができるのが面白いと思った。